

研究名： 心臓血管外科手術後の縦隔・心嚢ドレーン先端培養結果と手術部位感染症の関連性に関する研究

1. 研究の目的

心臓血管外科の手術後に起きることがある手術部位感染症は重篤な疾患です。しかし、深部に手術部位感染症が発症した時に、早期に診断する良い検査がありません。この研究は、心嚢および縦隔ドレーン（出血などが起きてないかを監視するために手術後に入れる管）の培養が、手術部位感染症の有無を予測する指標になるかを検討するために行います。

2. 研究の方法

- ① 研究対象：当センターにて 2014年12月～2018年7月までに、心臓血管外科手術を受けられ、ドレーンの培養を提出された方
- ② 研究期間：2018年8月～2020年8月
- ③ 研究方法：当院の検査課の培養のデータから、心嚢ドレーンと縦隔ドレーンが提出された患者様をリストアップします。各患者様の入院中のカルテを確認し、手術部位感染性があったかを判定します。そして、カテーテル培養から細菌が発育した場合としない場合とで手術部位感染症の発生率に差があったのかを検討します。

3. 研究に用いる資料・情報の種類

- ・情報：病歴（手術後の感染症の有無）、検査データ 等
- ・資料：ドレーン培養検査結果 等

4. 資料・情報の公表

本研究が終了後に、学会発表および科学論文上に発表する予定です。

5. 研究実施機関

群馬県立小児医療センター

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

○照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

群馬県立小児医療センター アレルギー感染免疫科 清水彰彦
住所：群馬県渋川市北橘町下箱田 779 番地
電話：0279-52-3551

○研究責任者：

群馬県立小児医療センター アレルギー感染免疫科 清水彰彦